

社保シリーズ

ブリッジの設計 (接着冠とロングスパン)

3

社保研究部

今回は、ロングスパンブリッジと、2012年度の診療報酬改定で適応範囲が臼歯部にも拡大された接着ブリッジについて解説する。

症例解説

症例では、上顎に接着ブリッジ、下顎にロングスパンのワンピースキャストブリッジを作製している。

保険適応の接着ブリッジは①1歯欠損症例において、支台歯のうち少なくとも1歯が生活歯の場合②支台歯の切削をエナメル質にとどめ接着性レジンセメントを用いて支台歯に接着冠を装着する——が算定要件になる。欠損は1歯に限られるが、支台歯数に制限はない。

接着冠の歯冠形成は金属冠の生P Z 306点に490点を加算した796点で算定する。症例のように生活歯である4のみが加算の対象になり、6は通常の失P Z 166点になる。

また、リテーナーの作製や完成した接着ブリッジの仮着も算定制限はないが、仮着セメントによってレジンセメントの接着性を阻害する可能性も否定できないため、歯科医学上意見が分かるところである。

さて、両装置とも、平行測定を実施している。支台歯とポンティックの合計が5歯以下の場合、検査結果をカルテに記載するか、結果がわかる記録をカルテに添付する。

支台歯とポンティックの合計が6歯以上の場合には、支台歯間の平行関係を確認するために模型を作製し、サベイヤーなどで測定しなければならない。作製した模型は欠損補綴終了月の翌月から3年間保管する。ただし、サベイヤーなどで測定結果、患者氏名および作製年月日が判別できる状態の写真をカルテに添付した場合、模型は平行測定算定月の翌月から3カ月間経過した時点で廃棄してもよい。

顎運動関連検査を実施した場合は、レセプトのX線・検査のその他欄に実施した検査名を記載する。また、本症例のように支台歯とポンティックの合計が6歯以上のブリッジは摘要欄記載は不要だが、少数歯欠損に対して実施した場合は、摘要欄に咬合状態など検査の必要性を記載しなければならない。例えば④3②①Brのときは「右側側方運動のガイドが不明確なため」などと記載する。

レジン前装金属ポンティックは、本症例のように犬歯・第一小臼歯の2歯連続欠損に限って認められる。その際、4のポンティックは前歯部の点数で算定する。

支台歯のうち1歯がエナメル質の削合にとどめれば接着ブリッジの適用になる。

5は小臼歯部なので金属裏装ポンティックでもよい。

レジンセメントは、パナビアセメント® やスーパーボンド® など。

補診は同一初診内は1回限りの算定となり、別に算定できない。ただし診断内容のカルテ記載は必要になる。

支台歯とポンティックの合計が6歯以上のブリッジに際して平行測定する場合は模型を作製しサベイヤーなどの使用が必要になる。

3、4番の2歯連続欠損に限って4番にレジン前装金属ポンティックが認められる。従って点数は3番と同じ点数で算定する。

部位	傷病名	診療開始日
5 4 3	MT	24年9月3日
6 5	C ₂	24年9月3日
6	FMCフテキ, C (既根充歯)	24年9月3日
2 1 1 2	前装MCフテキ, C (既根充歯)	24年9月3日
〔年齢〕 63歳女性		
〔主訴〕 歯のないところに人工の歯をつかって欲しい		
〔所見〕 6 5 隣接面にう蝕を認める。		

月日	部位	療法・処置	点数
9/3		再診	42
	⑥⑤④	補診	100
		6根充状態良好。支台歯として問題なし(FMC)	/
		4う蝕ないため接着冠とするBrを作製	/
	6	FMC除去	32
	6	失P Z (FMC)	166
	4	生P Z (接着冠) (306+490)	796
	⑥⑤④	平測 平行ミラーで平行を確認	50
		連imp (寒天+アルジネート)	280
		BT	70
	6 5	浸麻(OA+歯科用キシロカインC t 1.8mL) (30+6)	36
		う蝕(軟化象牙質除去, 暫間充填) (18×2)	36
		間P C a p (30×2)	60
9/10		再診	42
	⑥⑤④	接着B r s e t	150
	6	12%金パラFMC	824
	4	12%金パラ接着冠	521
	5	12%金パラ鑄造ポンティック	755
		補管	330
	6 4	接着材料I (スーパーボンドC & B) (16×2)	32
9/18		再診	42
	⑥⑤④③②①①②	補診(4 3)レジン前装金属ポンティック, 6 5は	/
		4/5冠, 前歯部根充良好。前装MCのBrを作製)	/
	2 1 1 2	前装MC除去 (32×4)	128
	6 5	浸麻(OA+歯科用キシロカインC t 1.8mL)	/
		生P Z (4/5冠) (306×2)	612
	2 1 1 2	失P Z (レジン前装金属冠) (636×4)	2,544
	⑥⑤④③②①①②	平測(機, サベイヤーを用い平行関係を確認)	100
		連imp (寒天+アルジネート)	332
		BT	140
		顎運動関連検査(C h B : R 23°, L 25°)	380
		リテーナー 仮セ (300+4×6)	324
9/25		再診	42
	⑥⑤④③②①①②	ワンピースキャストB r s e t	300
	2 1 1 2	12%金パラ前装M C s e t (1,504×4)	6,016
	5	12%金パラ4/5金属冠s e t	521
	6	12%金パラ4/5金属冠s e t	604
	4 3	12%金パラレジン前装金属ポンティックs e t (1,436×2)	2,872
		補管	440
	6 5 2 1 1 2	接着材料I(クリアフィルS Aルーティング) (16×6)	96
9月分 4日分 19,815点			